

郡山駅庚坦原線整備事業が 全国街路事業コンクールにおいて“優秀賞”を受賞

第 20 回全国街路事業コンクールにおいて『**県中都市計画道路郡山駅庚坦原線整備事業**』が“**優秀賞**”を受賞しました。

郡山駅庚坦原線整備事業

郡山駅前から国道 4 号までの区間の道路は、交通量が多く、停車車両による慢性的な渋滞が発生しています。この事業では、平成 13 年度から平成 18 年度まで並行する(都)大町横塚線を併せて整備することにより、本路線の交通量を減少させ、車線を 6 車線から 4 車線に減らすことにより、バスやタクシーの専用停車スペース及びトラックなどの荷下ろしスペースを整備し、交通の秩序化を図りました。さらに、電線類の地中化やアーケード改修と併せて整備することにより、ゆとりある歩行空間を創出しました。



(都)郡山駅庚坦原線 整備後の様子



荷捌きスペースの利用状況



歩道空間の利用状況

全国街路事業コンクール

全国街路事業コンクールは、街路整備に優れた業績をあげている地方公共団体等を表彰し、望ましい街路事業の推進と整備基準及び技術水準の向上を図ることを目的として、全国街路事業促進協議会が平成元年度から毎年実施しています。

今回の第 20 回全国街路事業コンクールでは、全国の都道府県等から推薦された 34 件の事業について、審査委員会(審査委員長:新谷洋二東京大学名誉教授)による、第 1 次審査(平成 20 年 3 月 28 日)及び第 2 次審査(平成 20 年 5 月 8 日)の厳正なる審査を行った結果、11 事業が入賞しました。

郡山駅庚坦原線の整備をするにあたって、タウンミーティングや地域との意見交換会を重ね、郡山駅前のシンボルロードに相応しい道路整備等の検討を行いながら、交通社会実験を繰り返し、住民との合意形成と関係機関との総合的な調整を図りながら実施したことが高く評価されました。

平成20年度「地方の元気再生事業」に 県内から5件の取組みが採択されました。

去る7月11日、政府が本年度創設した「地方の元気再生事業」の選定結果を公表しました。全国の地方公共団体や特定非営利活動法人（NPO法人）、官民連携の協議会などから1186件の応募があり、120件が選定されたものです。福島県から選ばれたのは、喜多方市の「日本一の蔵再生によるまちおこし」、二本松市岳温泉の「岳温泉日本一の健康保養温泉地創造事業」、西会津町の「健康万歳！！田舎・暮らしの知恵袋と健康ミネラル野菜・ICTの共鳴」、桑折町の「街道を活かした桑折のまちづくり実践調査～歩いて楽しむために～」そして会津若松市・下郷町・南会津町・栃木県日光市による「日光 会津観光軸元気再生プロジェクト」の5事業です。

地方の元気再生事業は、地域の創意工夫や自由な発想に基づく取り組みの立ち上げ部分を国が支援するもので、採択された内容については国が全額費用負担するものです。採択された県内の取り組みの中から2件を紹介します。（なお、採択された取り組みの概要は内閣府のホームページに掲載されています。）

日本一の蔵再生によるまちおこし（喜多方蔵のまちづくり協議会）

合併後の新喜多方市に共通する地域資源として、あらためて「蔵」を再認識し、市内中心部から農村部に至るまで4,200ある「蔵」をキーワードにした取り組みを、産・官・学、そして地域の住民団体等が総出で行い、合併後の地域一体となったまちづくり・観光交流人口の拡大へ結びつけるものです。



漆器の倉庫蔵

米蔵

市街地の蔵

蔵



杉山集落の蔵並

煉瓦造りの蔵

周辺部の蔵

平成20年度の主な取組（予定）

3,000棟を目標に、存在する蔵の実態把握調査、文化財登録の促進、蔵の巡回写真展・シンポジウム等により蔵文化を学び、人づくりを推進。

農村部の蔵を活用したグリーンツーリズムや農村部も含めた観光新ルートの開発等、市街地の蔵と周辺部の蔵をつなぐ仕組みの検討。

岳温泉日本一の健康保養温泉地創造事業（岳温泉旅館協同組合）



岳の全景



パワーウォーキング研修



岳温泉

安達太良山と岳温泉という地域資源に、ウォーキングと食を組み合わせた体験プログラムの開発や科学的データの収集、近隣の医療施設との連携による人間ドックの受け入れ等により、健康温泉保養地構想の標準モデルを構築するものです。

平成20年度の主な取組（予定）

ドイツ生まれのパワーウォーキングを活用したプログラムの開発、旅館料理のカロリー表示化や温泉入浴指導員等を兼ね備えた、モニターツアーの実施。企業向けメタボ対策プログラムの構築、プロモーション活動、近隣の大学との連携による人間ドックの受け入れをセットにしたツアー等を実施。

県営公園の紹介コーナー

あづま総合運動公園

公園概要

当公園は、吾妻小富士や安達太良山など吾妻連峰を間近に望み、園内や周辺には自然林が生い茂る緑豊かな公園です。県内のスポーツ振興の拠点として、また、四季を通じて楽しめるレクリエーションの場として、多くの県民の皆様にご利用いただいております。

施設内容

あづま陸上競技場、あづま総合体育館、あづま球場、テニスコート、サイクルスポーツ広場、多目的運動広場、軟式野球場、ピクニック広場、巨石広場、木陰広場、トリムの森、民家園等

アクセス

- ・福島駅から福島交通バス佐原線（あづま総合体育館下車）
- ・福島駅から車で約 20 分

お問い合わせ先

(財)福島県都市公園・緑化協会

TEL 024-593-1111

すてきな並木道を歩いてみませんか？



第2回公園フォトコンテスト 作品募集中！！



- * テーマ 『公園の魅力』
四季の公園の自然風景、イベント・利用写真など、県営公園の魅力を捉えた写真。
- * 対象公園 ・あづま総合運動公園（福島市）
・逢瀬公園・福島県総合緑化センター（郡山市）
・福島空港公園（須賀川市、玉川村）
- * 応募資格 【一般の部】特に制限はありません。
【高校生以下の部】小学生・中学生・高校生の作品に限ります。

* 応募締切 平成20年10月31日(金)当日必着

お問い合わせ先

財団法人 福島県都市公園・緑化協会内

「公園フォトコンテスト」係 TEL 024-593-1111

今年も絵灯笼まつりと三春のおよばれ百杯宴

が開催されました

昨年、「三春のおよばれ研究会」の企画により実現した「絵灯笼祭り」と三春のおよばれ「百杯宴」が、今年も去る8月15、16日に三春町内で行われました。「絵灯笼まつり」は、ワークショップで牛乳パックを利用して参加者が思い思いの絵を描きろうそくを入れて作った絵灯笼を、三春の盆踊り大会に合わせ、川沿いなどに約600基並べて幻想的な演出を行ったもので、「百杯宴」とあわせ盆踊りを盛り上げました。



「かわらけ」の絵付けも行いました



約40名が参加した絵灯笼作り

「百杯宴」てな～に？

百杯宴は、三春町の商工会館裏手の桜川脇で開かれたとされ、石碑が残っている。宴を開いたのは三春の儒家の川前紫溪(しけい)で、自由民権運動の河野広中に「広中」の名を授けたとしてしられる。学問や芸術に幅広く通じる一方、酒豪で川前を慕う人は贈り物に迷わず杯を選んだという。贈り物で受けた杯が百を数えたのを記念し、安政4(1857)年に花見の宴「百杯宴」を開いた。学問や文化を愛するものが集い豪快かつ風流な宴が繰り広げられたというもの。



百杯宴の石碑



～編集後記～

「まちづくり瓦版～うつくしま、まちづくり推進レポート～」(Vol.29)はいかがでしたか?福島県について新たな発見はありましたか?今後も、街路や公園等の情報提供など、まちづくり推進課としてより充実したものにしていきたいと思っておりますので、取り上げてほしい事例や写真、ご意見・ご感想などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

～前号の答え～

川越市の面積(109.16km²)と最も近い面積の町はどこでしょう。

A. 榎葉町(103.45 km²)

その他の答え 石川町 115.71 km²、柳津町:176.07 km²

メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、
1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)、よろしければ、5. 性別、6. 年齢を記入の上、まちづくり推進課のメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】

福島県土木部まちづくり推進課

〒960-8670(住所記載不要)

TEL 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>